

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	建築学会環境基準作成小委員会	主 査 名：久野 覚 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：久野 覚
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築および都市の環境工学に関するさまざまな性能項目、性能基準（規準）、検証方法の学会としての基本姿勢を実務家や団体、行政に対して明示する</li> <li>・ 新しい学術的成果を取り纏め、建築学会環境規準として示す</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：久野 覚 (名古屋大学) 幹事：飯塚 悟 (名古屋大学)、稲留康一 (奥村組) 委員：稲垣卓造 (大同大学)、小竿真一郎 (日本工業大学)、鍵 直樹 (東京工業大学)、川瀬隆治 (東急建設)、木村健一 (フジタ)、古賀靖子 (九州大学)、高田 暁 (神戸大学)、田端淳 (大成建設)、都築和代 (産業技術総合研究所)、平松友孝 (音・環境研究所)、柳 宇 (工学院大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	各運営委員会所属の WG： 光環境運営委員会 (昼光に関する基準 WG、街路景観色彩のアカデミック・スタンダード準備 WG)、空気環境運営委員会 (臭気に関する学会基準改訂 WG)	
2012 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s8/">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s8/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. AIJES「建物の「湿害」に関する学会規準」 2. AIJES「浮遊微生物サンプリング法学会規準」 3. AIJES「微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理基準・同解説」
講習会	1. 「建物の「湿害」に関する学会規準」講習会 参加者数 116 名 2. 「微生物による室内空気汚染に関する設計・維持管理基準・同解説」講習会 参加者数 44 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 「浮遊微生物サンプリング法学会規準」シンポジウム 参加者数 40 名 2. 「集合住宅遮音性能規準・遮音設計指針」シンポジウム 参加者数 132 名 3. 「温熱心理生理測定法学会規準」シンポジウム 参加者数 47 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 「建物の「湿害」に関する学会規準」パブリックコメント 2. 「浮遊微生物サンプリング法学会規準」パブリックコメント
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. AIJES 刊行 3 件 (計画 7 件) 2. AIJES 作成着手 4 件
委員会活動の問題点・課題	1. 一部の AIJES 作成着手に遅れが生じている 2. 環境工学委員会のメールマガジンを通じて刊行物の販売促進を行うことを検討している



- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

## 2012 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

<b>総合評価 (4段階評価)</b>	<b>B</b>
<b>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度新規に3件のAIJESを刊行した（本年度までの総計は23件）</li> <li>・ES総則を改定した。改定時の作業フローを示すとともに、総則内で曖昧であった事項を明確化した</li> <li>・販売促進のために、環境工学委員会のメールマガジンの活用を今後検討する</li> <li>・制定から5年経過したAIJESの改定・確認・廃止に関する検討結果について、文書での報告を徹底した。今後も文書報告を原則とした</li> </ul>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。